

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、良好である。 ・路網整備された路線は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、山地災害防止や水源涵養など機能類型の区分に応じた森林が形成され、水源の涵養、山地災害の防止、炭素固定などの公益的機能が発揮されている。 ・路網整備事業の実施により、作業コストの縮減等が図られるようになり木材生産機能が形成されている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観を保持し、森林資源の充実を図っている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>胆振東部地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、冬温暖、夏冷涼な気候を生かして水稲や野菜等の畑作物、酪農・畜産やメロンが栽培されているなど多様な農業が展開されている。このほか、軽種馬の生産、沿岸漁業、道内有数の工業都市並びに港湾都市となる苫小牧市を中心に産業の活性化が見られ地域経済の基盤となっている。</p> <p>林業では、高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、森林施業に資する林道、林業專業道及森林作業道の有機的な連結により効果的な森林施業が展開されており、間伐等の推進が期待されている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られたと認識している。今後も国有林と民有林で一層連携して森林整備を推進していただきたい。</p> <p><small>しらおい</small> (白老町)</p> <p>本町における国有林については、白老町の行政面積の50%以上を占めており、国土の保全、水源の涵養など森林の持つ多面的機能の重要な担い手として、その役割は地域住民から大きく期待されているところである。</p> <p>近年、全国各地で集中豪雨による山地災害が多発していますが、本町でも平成26年9月の大雨により民有林を含め林地内の町道の崩壊、河川への土砂の流出と氾濫などの被害が発生した。</p> <p>本町の上流域を占める国有林につきまして、森林の持つ多面的機能の維持増進のためにも、適切な森林管理の推進を要望する。</p> <p><small>とまこまい</small> (苫小牧市)</p> <p>樽前山麓の国有林は、苫小牧市水道事業の取水河川の源となっている。</p> <p>しかし、過去における広範囲の風倒木被害や、近年のゲリラ豪雨等の影響により、河川周囲の崩壊箇所起因した濁度上昇が頻繁に発生している。</p> <p>また、その回復に長い時間を要することから水処理に大きな支障をきたしている。</p> <p>このため、市民生活を支える重要なライフラインである水道水の安定供給という観点からも水源涵養機能や水質の安定が図られるよう、森林の整備を</p>

	<p>要望する。</p> <p>(むかわ町)</p> <p>本町の森林面積は行政区域の約79%を占めており、そのうち国有林が約36%を占めますが、水土保全など森林の公益的機能への役割が益々重要となる。</p> <p>近年は、全国各地で集中豪雨により山地災害が多発しておりますが、本町においても8月に立て続けに上陸した台風により山地崩壊等による林道への土砂流入や河川への土砂流出及び氾濫など被害が発生したところである。</p> <p>特に、今回の台風では十勝及びオホーツク方面を中心に山地災害等の甚大な被害を受けたことなどから、山地災害防止など森林の公益的機能の維持確保など適切な森林管理と治山事業の推進が重要となりますので、本町の上流を占める国有林の適切な森林整備を要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、沿岸部の漁業等に対する水質の保全に配慮した施業実施が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本地域は、苫小牧市を中心とした比較的平坦な山地からなる上流域に位置しており、下流域の水源として、基幹産業である農業や沿岸資源に依存した水産業、工業などの振興に資するための重要な役割を担っている。 <p>このため、上流域の森林施業の在り方により受ける影響は大きく、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られたことから、事業の有効性が認められる。</p>

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成18年度～平成22年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	そらや 宗谷森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 そらや 宗谷森林管理署
完了後経過年数	5年	管 理 主 体	そらや 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の最北に位置する天塩川広域流域のうち、宗谷総合振興局管内の稚内市を含む1市7町1村（現在は8町）に所在する国有林約161千haの国有林を対象としている。</p> <p>本森林計画区は、利尻・礼文両島の地域と本島地域に大別され、利尻・礼文地域には、利尻礼文サロベツ国立公園があり、多様な森林群落等から保護林にも指定されている。また、絶滅のおそれが高い野生生物の生息・生育地やラムサール条約湿地が所在するなど野生生物の保護に対する要望が高い地域として適切な森林の管理経営が求められている。また、本島地域の猿払川や頓別川など多くの河川が下流都市町村の水源となっており、上流に位置する国有林の殆どが水源かん養保安林に指定されている。このことから道内有数の耕地面積を誇る大規模草地型酪農や多くの主要魚種を対象とした漁業など地域の基幹産業にも寄与しており、水源涵養機能の発揮と森林の持続的な管理経営が求められる地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待や要請に応えるとともに、水源涵養機能の発揮や地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施した。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新 142 ha 保育 11,807 ha</p> <p>路網整備 開設 延長 15.5 Km</p> <p>・総事業費 1,256,631 千円</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成28年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>総 便 益 (B) 75,437,289 千円 (事業採択時: 8,439,405 千円)</p> <p>総 費 用 (C) 5,077,366 千円 (事業採択時: 1,065,673 千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 14.86 (事業採択時: 7.92)</p>		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって11,949haの森林が整備されたことにより、水源の涵養や国土の保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設によって15.5Kmの林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応したことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・施業地まで自動車に対応できるようになり、効率的な森林管理の実施及び造林作業員の歩行時間の短縮や資材運搬等の経費の縮減が図られた。</p> <p>・雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。</p>		

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、良好である。 ・路網整備された路線は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、山地災害防止や水源涵養など機能類型の区分に応じた森林が形成され、水源の涵養、山地災害の防止、炭素固定などの公益的機能が発揮されている。 ・路網整備事業の実施により、作業コストの縮減等が図られるようになり木材生産機能が形成されている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>宗谷地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、産業では広大な耕地面積を背景に大規模な草地型酪農が展開されるなど道内有数の酪農地帯となっている。また、沿岸地域では道内の主要魚種の漁獲量も多くを占め、離島への観光資源など特徴を生かした産業により地域の経済を担っている。</p> <p>林業では、高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、森林施業に資する林道、林業專業道及森林作業道の有機的な連結により効果的な森林施業が展開されており、間伐等の推進が期待されている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られたと認識している。今後も国有林と民有林で一層連携して森林整備を推進していただきたい。</p> <p><small>わつかない</small> (稚内市)</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養機能等の森林の有する多面的機能の発揮を期待する。</p> <p>また、今後も森林の有する多面的機能が持続的に発揮するよう森林整備事業の継続を強く要望するものである。</p> <p><small>はまどんべつ</small> (浜頓別町)</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待している。今後も、森林のもつ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を要望する。</p> <p><small>なかどんべつ</small> (中頓別町)</p> <p>町内の国有林が占める割合が高い本町において、地球温暖化防止を目的とした森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価する。</p> <p>今後は、保健・文化・教育的な利用の提供を視野に入れ、森林空間を活かした総合的な整備も期待する。</p>

^{えさし}
(枝幸町)

森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待しています。今後も森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を希望します。

^{とよみ}
(豊富町)

森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を期待する。

^{りしり}
(利尻町)

町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことにより、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと十分に評価する。

本町の基幹産業である漁業の振興に資する公益的機能の持続的発揮に今後も期待するとともに、近年発生している大規模な気象災害にも対応できる「気象災害に強い森林づくり」を展開して頂きたいことから、今後の同事業の継続を強く望むところであります。

^{れぶん}
(礼文町)

町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたと評価できるものである。

今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。

^{りしりふじ}
(利尻富士町)

町内の森林のうち国有林が占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。

今後も、同事業の継続と国有林の整備を要望する。

^{きるふつ}
(猿払村)

村内の森林のうち国有林が占める割合が高い本村において、森林整備が着実に実施された事は十分に評価できる。今後も同事業の継続と国有林の整備をお願いしたい。

森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待する。今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続をお願いしたい。

森林管理局事業評価
技術検討会の意見

本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。

評価結果

- ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、沿岸部の漁業等に対する水質の保全に配慮した施業実施が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。
- ・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。
- ・ 有効性 本地域は、稚内市をはじめ、水産漁業、酪農、利尻・礼文島を中心とした観光業など、地域の基幹産業を担う重要な役割を担っている。
このため、上流域の森林施業の在り方により受ける影響は大き

く、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られたことから、事業の有効性が認められる。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成18年度～平成22年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	あばしりとうぶ 網走東部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 あばしりちゆうぶ 網走中部森林管理署																
完了後経過年数	5年	管理主体	あばしりちゆうぶ 網走中部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の北東部に位置し、オホーツク総合振興局管内の東部、北見市を含む1市2町に所在する国有林約106千haを対象としている。</p> <p>本事業地は、低山性の山地で構成されている佐呂間別川地域とトドマツやカラマツの人工林、天然生の針広混交林から森林を構成する常呂川上流地域に大別され、大半が水源かん養保安林に指定されている。また、同地域で生産される木材は、全道の製材出荷量としても高い水準を担っており、森林資源の豊富な地域としても知られている。また、河川やダムの上流部に位置する森林は、その殆どが国有林であり、全道一のたまねぎ生産を初め、畑作と酪農を主体とする地域の基幹産業にも大きく寄与しているところであり、その他にも地域の水源とし、土砂や濁水の流出を防止するなど、森林の有する水源涵養機能及び山地災害防止機能の持続的発揮に向けた森林整備が強く求められる地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待や要請に応えるとともに、水源涵養機能の発揮や地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施した。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>82</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>3,953</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設 延長</td> <td>1.0</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良 延長</td> <td>1.2</td> <td>Km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,014,653 千円</p>			森林整備	更新	82	ha		保育	3,953	ha	路網整備	開設 延長	1.0	Km		改良 延長	1.2	Km
森林整備	更新	82	ha																
	保育	3,953	ha																
路網整備	開設 延長	1.0	Km																
	改良 延長	1.2	Km																
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成28年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>総便益（B） 24,801,991 千円（事業採択時： 9,495,397 千円）</p> <p>総費用（C） 6,138,023 千円（事業採択時： 1,186,238 千円）</p> <p>分析結果（B/C） 4.04 （事業採択時： 8.00 ）</p>																		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって4,035haの森林が整備されたことにより、水源の涵養や国土の保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって2.2Kmの林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応したことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・施業地まで自動車に対応できるようになり、効率的な森林管理の実施及び</p>																		

	<p>造林作業員の歩行時間の短縮や資材運搬等の経費の縮減が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、良好である。 ・路網整備された路線は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、山地災害防止や水源涵養など機能類型の区分に応じた森林が形成され、水源の涵養、山地災害の防止、炭素固定などの公益的機能が発揮されている。 ・路網整備事業の実施により、作業コストの縮減等が図られるようになり木材生産機能が形成されている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>網走東部（網走中部署）地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、産業では畑作と酪農を主体とする生産性の高い農業が展開されている。また、オホーツク海沿岸やサロマ湖を漁場としている漁業や観光資源など、地域の特徴を活かした経済を担っている。</p> <p>林業では、高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、森林施業に資する林道、林業專業道及森林作業道の有機的な連結により効果的な森林施業が展開されており、間伐等の推進が期待されている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>（北海道）</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られたと認識している。今後も国有林と民有林で一層連携して森林整備を推進していただきたい。</p> <p>きたみ （北見市）</p> <p>市内の森林のうち国有林が占める割合が高い本市において、森林整備が着実に実施されたことは、森林の持つ多面的機能の向上につながるものと評価できる。</p> <p>今後も、森林の持つ多面的機能が持続できるよう事業を継続し、本市の豊かな自然環境の形成に寄与されることを要望する。</p> <p>さろま （佐呂間町）</p> <p>国有林は、町民への水源の供給の源となっており、引き続き機能が継続となるよう適切な森林整備をこれまでも増して、一層の整備推進を要望する。その他、森林浴、森林散策等の憩いの森の役割ともなっており、機能ご</p>

	<p>とに照らし合わせた森林整備にも取り組んで頂くようあわせて要望します。</p> <p>おけと (置戸町)</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施され、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたことは十分に評価できるものである。</p> <p>今後においても、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう、より一層の事業実施を要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、沿岸部の漁業等に対する水質の保全に配慮した施業実施が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本地域は、北見市をはじめ、産業の中心となる畑作酪農である農業、水産漁業など、地域の基幹産業を担う重要な役割を担っている。 <p>このため、上流域の森林施業の在り方により受ける影響は大きく、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られたことから、事業の有効性が認められる。</p>

	<p>益的機能が発揮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路網整備事業の実施により、作業コストの縮減等が図られるようになり木材生産機能が形成されている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>網走東部（網走南部署）地域では、平成17年7月に「知床」が新たに世界自然遺産として登録され、地域経済にとって観光業が更に重要な位置付けとなった。また、この地域は畑作と酪農を主体とする生産性の高い農業が展開されるとともに、オホーツク海沿岸やサロマ湖を漁場としている漁業も地域経済の基盤となっている。これらの近隣で実施される森林の管理においては、より周辺環境に配慮することが必要となっている。</p> <p>また、林業においては、高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進んだ地域でもあることから、林道、林業專業道及森林作業道の有機的な連結により、更なる間伐等の推進も期待されている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象地域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>（北海道）</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られたと認識している。今後も国有林と民有林で一層連携して森林整備を推進していただきたい。</p> <p><small>あほしり</small> （網走市）</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の有する多面的機能の発揮を期待している。今後も、森林の有する多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を要望する。</p> <p><small>しやり</small> （斜里町）</p> <p>地球温暖化防止を目的とした森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。</p> <p>今後も適切な森林整備の実施と、民有林事業者等の見本となるような管理をお願いしたい。</p> <p><small>こしみず</small> （小清水町）</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものであり、今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p><small>きよさと</small> （清里町）</p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を依頼する。</p> <p><small>つべつ</small> （津別町）</p> <p>国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の機能が発揮されたと判断する。</p>

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、沿岸部の漁業等に対する水質の保全に配慮した施業実施が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本地域は、網走市をはじめ、産業の中心となる水産漁業、畑作酪農である農業、知床世界自然遺産を中心とした観光業など、地域の基幹産業を担う重要な役割を担っている。 このため、上流域の森林施業の在り方により受ける影響は大きく、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られたことから、事業の有効性が認められる。